

地域計画

策定年月日	令和7年3月27日
更新年月日	令和8年1月23日 (第1回)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	中津川市 21206
地域名 (地域内農業集落名)	蛭川地域 (和田・今洞・中切・柏ヶ根・殿塚・町切・棚田・鳩吹・奈良井・下沢・一色・一之瀬・田原・奥渡)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	246.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	242.2 ha
② 田の面積	217.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	19.8 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	77.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	8.1 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	80.0 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)農地範囲の捉え方の錯誤に伴い当初策定から数値を是正	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・蛭川地域は、農業者の高齢化が進み、遊休農地の増加が懸念される。
・地域の農地利用は地域内の農業を担う者である(農)あびろみが担うが他の経営体は個人経営のため、新たな農地を集約することは難しい。
・地域内は狭小で山際に面した農地が多く地理的条件が悪いことから農地集約の支障となっている。
・持続的に農地の利用を図りながら活性化を進めるためには、新規就農者や認定農業者を確保・育成しつつ地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が課題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法について)は、必須記載事項

・新規就農者や認定農業者を確保育成しつつ、地域内外から農地を利用する者を確保し、担い手への農地の集約化に配慮し、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。
・作物は水稻を中心に土地利用型作物の作付けを行い、高収益作物の推進を図る。
・担い手の確保に向けて、振興会より他の地域への呼びかけや企業への働きかけを行う。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・農地中間管理機構への貸し付けを進めつつ、担い手((農)あびろみ他認定農業者)への農地の集積・集約の農地利用を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	31.5 %	将来の目標とする集積率	34.4 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・中山間地域直接支払制度によるアンケート結果により、受け手等が決まっている農家が119,694m ² 、決まっていない農家が251,671m ² 、農地中間管理機構へ貸し付けを希望する農家が398,148m ² であり、決まっていない農家と合わせて農地中間管理機構へ貸し付けを行う。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組
・担い手を中心とした農地の集積・集約化を進めるため団地面積の拡大を図りつつ、小規模の団地化を図り、農地中間管理機構を通じて集団化を図る。

(2) 農地中間管理機構の活用方法
・蛭川地区は圃場整備がほとんど整備されているので地区全体を重点実施地区とし、将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を農地中間管理機構に貸し付けていく。
・地域内の農業を担う者が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地中間管理機構の機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、農地中間管理機構を通じて地域内の農業を担う者への貸付けを進めていく。

(3) 基盤整備事業への取組
・田原地区は、農地が狭小であり、水路の老朽化が進行しているものの、蛭川地域内では比較的平坦で優良農地であり、同一営農組織による一定的な営農体制の確立を進めていく地区である。これらの状況を踏まえ、当地区を蛭川地域における今後のモデル地区として位置付け、県営のほ場整備事業の実施を目指す。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
・地域内外から、多様な経営体を募り意向を踏まえながら担い手として育成していくため、県及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・作業の効率化が期待できる既存の受託組織や、担い手へ委託することにより合理化を図り、遊休農地の防止に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畠地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①農地所有者、耕作者、地域内の農業を担う者など地域全体で侵入防止柵設置や捕獲体制の構築など、地域一体となつた鳥獣害対策に取り組む。
 - ②狭小な地域を主に有機・減農薬・減肥料を取り組む。
 - ③ドローンでの農薬散布や、自走式草刈り機による草刈りなど、スマート農業の推進に取り組む。
 - ⑦可能な限り中山間地域等直接支払交付金等の事業を活用し、農地や農道等の保全管理を継続して取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」。上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

「2.「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、

（注）本会員面積には、空港付近の未開墾地を記載しております。なお附帯農地は
経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努め

ください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

6 目標地図(別添のとおり)

- 7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人) うち計画同意者数(人・%)

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 12 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1 到達		水稻、ニンニク	0.9 ha	0.5 ha	水稻、ニンニク	0.9 ha	0.5 ha	B	
2 認農		水稻・大豆・飼料作物	68.0 ha	ha	水稻・大豆・飼料作物	74.8 ha	ha	C	
3 認農		施設野菜	1.0 ha	ha	施設野菜	1.0 ha	ha	D	
4 認農		酪農	0.9 ha	0.2 ha	酪農	0.9 ha	0.2 ha	E	
5 認農		施設野菜	0.4 ha	ha	施設野菜	0.4 ha	ha	F	
6 認農		施設野菜	1.0 ha	ha	施設野菜	1.0 ha	ha	G	
7 認農		繁殖牛	1.1 ha	ha	繁殖牛	1.1 ha	ha	H	
8 認農		水稻・大豆	0.4 ha	0.4 ha	水稻・大豆	0.4 ha	0.4 ha	I	
9 利用者		野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	J	
10 利用者		水稻・大豆他	0.9 ha	ha	水稻・大豆他	0.9 ha	ha	K	
11 利用者		酪農・繁殖	0.7 ha	3.8 ha	酪農・繁殖	0.7 ha	3.8 ha	L	
12 利用者		水稻	0.6 ha	0.4 ha	水稻	0.6 ha	0.4 ha	M	
13 利用者		水稻	0.7 ha	ha	水稻	1.0 ha	ha	N	
14 利用者		水稻	0.8 ha	ha	水稻	0.8 ha	1.0 ha	O	
15 認就		繁殖牛	ha	ha	繁殖牛	ha	ha		
16			ha	ha		ha	ha		
17			ha	ha		ha	ha		
18			ha	ha		ha	ha		
19			ha	ha		ha	ha		
20			ha	ha		ha	ha		
21			ha	ha		ha	ha		
22			ha	ha		ha	ha		
23			ha	ha		ha	ha		
24			ha	ha		ha	ha		
25			ha	ha		ha	ha		
26			ha	ha		ha	ha		
27			ha	ha		ha	ha		
28			ha	ha		ha	ha		
29			ha	ha		ha	ha		
30			ha	ha		ha	ha		
31			ha	ha		ha	ha		
32			ha	ha		ha	ha		
33			ha	ha		ha	ha		
34			ha	ha		ha	ha		
35			ha	ha		ha	ha		
36			ha	ha		ha	ha		
37			ha	ha		ha	ha		
38			ha	ha		ha	ha		
39			ha	ha		ha	ha		
40			ha	ha		ha	ha		
41			ha	ha		ha	ha		
42			ha	ha		ha	ha		
43			ha	ha		ha	ha		
44			ha	ha		ha	ha		
45			ha	ha		ha	ha		
46			ha	ha		ha	ha		
47			ha	ha		ha	ha		
48			ha	ha		ha	ha		
49			ha	ha		ha	ha		
50			ha	ha		ha	ha		
51			ha	ha		ha	ha		
52			ha	ha		ha	ha		
53			ha	ha		ha	ha		
54			ha	ha		ha	ha		
55			ha	ha		ha	ha		
56			ha	ha		ha	ha		
57			ha	ha		ha	ha		
58			ha	ha		ha	ha		
59			ha	ha		ha	ha		
60			ha	ha		ha	ha		
61			ha	ha		ha	ha		
62			ha	ha		ha	ha		
63			ha	ha		ha	ha		